JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏2	(2)記載者氏名:	芦澤　敏夫	会員番号:	13176	事務局整理記入欄		つくも会－5
分水嶺区分	E448野反峠～E447八間山～堂岩山(E446)分岐			(3)山行日:	2005年	7月	17日	(4)天候 晴

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
芦澤敏夫	13176						
		計	1名			計	名

(6) 山行記録・位置確認（出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して）・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	野反峠～八間山～堂岩山												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	野反峠まで車使用												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着時刻	出発時刻	道の状況	(8)～(11)の特記事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	野反峠	野反湖	138	39	34.7	36	41	34.7	1,565		6:30		
分水嶺到達点E448	野反峠	野反湖	138	39	34.7	36	41	34.7	1,565	6:30	6:30	A-1	
E447	八間山	野反湖	138	40	0.3	36	42	19.7	1,930	7:50	8:30	A-1	1
	堂岩山分岐	野反湖	138	40	35.7	36	43	51.4	2,026	10:20	10:25	A-1	
分水嶺離別点	堂岩山分岐	野反湖	138	40	35.7	36	43	51.4	2,026		10:25	A-1	
歩行終了点	野反湖	野反湖	138	38	35.6	36	43	11.5	1,519	12:55			
										総歩行時間（休憩時間を除く）:			5時間30分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
E447	八間山	3	北西	良好	北西45度方向

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

1　八間山山頂に朽ちた小屋あり

(9) 水および植生に関連した特記事項

特になし

(10) その他の特記事項

つくも会として分水嶺を担当した区間は、昨年3回実施し踏査したものと理解していたが、分水嶺事務局からご指摘をいただき、野反湖が起点ではなく、野反峠から八間山を経るコースが分水嶺であるとのことであり、今回再踏査を行った。

(11) 写真の添付:（有りの場合には、写真説明を記入してください）